

確定日（令和02 年 03 月 19 日）

事業コード	01030106		政策コード	01	政策名	秋田の未来につながるふるさと定着帰郷戦略							
事業名	結婚に希望をもてる社会づくり推進事業		施策コード	03	施策名	結婚や出産・子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート							
			指標コード	01	施策目標(指標)名	結婚・出産・子育てに温かい社会づくり							
部局名	あきた未来創造	課室名	次世代・女性活躍支援課		班名	調整・結婚・若者支援班		(tel)	8601552	担当課長名	水澤里利	担当者名	橋本喜明
評価対象事業(計画)の内容											事業年度	令和02年度～令和06年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 本県は、若年者の県外流出による社会減の進行のほか、独身者の意識変化とともに、ライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行が影響し、婚姻件数と出生数は、年々減少が続くなど、人口の自然減に歯止めがかからない状況であり、結婚・子育て等に希望を持てる気運の醸成や社会づくりが課題となっている。そのため、県民誰もが結婚・出産・子育てに希望がもてるよう、中学生から社会人までの各年代でライフプランを学び考える機会を充実させながら、これまで以上に家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、あきた結婚支援センターを支援の中心に位置づけながら、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の充実を図る。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 結婚から出産・子育てまでのライフステージのうち、まずは結婚につながるオール秋田での出会いの場の創出を促進させるとともに、家庭や職場、地域が全体で結婚・出産・子育てを応援する気運を醸成することにより、県民の希望がかなう社会づくりが進み、人口の自然減が抑制される。 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望								
					4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 県民、独身男女、高校生、すこやかあきた出会い応援隊、会員団体 達成のための手段 「あきた結婚支援センター」、「あきた結婚応援パスポート」のPR、高校生を対象に、本県の少子化の現状等のほか、結婚や家庭を持つことの意義等について学び考える機会の提供、企業同士による独身従業員の交流促進、出会いの場を提供する企業・団体等の活動促進、独身者の婚活支援、出会いイベントや企業間交流会等に対する助成								
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 □ 受益者 ■ 一般県民 (時期: H31 年 03 月) ニーズの把握の方法 ■ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 平成30年度実施の「少子化・子育て施策等に関する調査」における独身就業者等のアンケート結果では、「現在、独身でいる理由」の設問への回答は「結婚したいと思う異性にめぐり会わない」が、「異性との出会いを実現するための支援」の設問への回答は「イベントへの開催支援」が最も高い割合となっている。また、出会える手段の一つである「あきた結婚支援センター」の存在に関する設問では、7割弱の独身者は認知していないと回答している。					比較した代替手段及び選択した手段の有効性 本事業は、既存事業をスクラップし、その代替を含めてビルドしたものである。 国交付金の優良事例横展開支援事業を活用していることから、その効果が期待できる。								
把握してない場合の理由及び今後の方針													
理由													
今後の方針													
5. 事業の全体計画及び財源													
単位(千円)													
順位	事業内記		左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	結婚支援施策の周知広報事業		若者の利用が多いインターネットを活用して結婚支援施策を周知するとともに、あきた結婚応援パスポートの利用者の増大と協賛店舗の拡大を図る。			10,151	10,151	10,151	10,151	10,151	0	50,755	
02	ライフデザイン形成支援事業		若い世代(大学生～社会人)が、結婚・出産・子育て・仕事を含めたライフデザインを希望通り描けるようにするため、自身の人生設計を考える機会を提供する。			4,905	4,905	4,905	4,905	4,905	0	24,525	
03	ライフデザイン学習推進事業		高校生を対象に、本県の少子化の現状や社会的影響のほか、結婚や家族を持つことの意義等について学び考える機会を提供する。			853	853	853	853	853	0	4,265	
04	独身者の出会い交流促進事業		企業同士による独身従業員の交流を促進するとともに、出会いの場を提供する団体等の活動を活性化させるほか、理想の結婚相手をみつけるために活動する独身者を支援する。			8,926	8,926	8,926	8,926	8,926	0	44,630	
05	多様な出会いの機会創出支援事業		結婚を希望する独身者の出会いの機会を創出するため、出会いイベントや企業間交流会等に対し助成する。			6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	0	30,000	
財源内訳		左の説明			30,835	30,835	30,835	30,835	30,835	0	154,175		
国庫補助金		地域少子化対策重点推進交付金			11,801	11,801	11,801	11,801	11,801	0	59,005		
県債					0	0	0	0	0	0	0		
その他		少子化対策基金			4,000	0	0	0	0	0	4,000		
一般財源					15,034	19,034	19,034	19,034	19,034	0	91,170		

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		県民誰もが結婚・出産・子育てを応援する気運が高まり、独身者の結婚の希望がかなう環境が整う。							
指標	指標名	ライフプランを意識することの必要性を理解した高校生等の割合						指標の種類	
	指標式	(ライフプランの必要性を理解した高校生等÷全高校生等)×100%						● 成果指標 ○ 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			80	83	86	88	90	90.0
	実績b	95.5		データ等の出典					
	東北 全国			少子化を考える高等学校家庭科副読本を活用し学んだ高校生等によるアンケート結果					
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月									
指標	指標名	すこやかあきた出会い応援隊のイベント開催件数						指標の種類	
	指標式	すこやかあきた出会い応援隊のイベント開催数の集計						○ 成果指標 ● 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			80	90	110	130	150	150
	実績b	112		データ等の出典					
	東北 全国			あきた結婚支援センターによる「すこやかあきた出会い応援隊のイベント開催数」集計結果					
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 04月 ○ 翌々年度 月									
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することが出来ない理由									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性									
○ 独身者の意識の変化やライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行を抑制するためには、結婚や出産等のライフプランを子どものときから学び、考える環境づくりは必要である。○ 出会いイベントの開催件数が急激に減少しており、独身者が出会い・交流する機会の創出への支援は必要である。									
住民ニーズに照らした事業の必要性									
○ 平成30年度に実施した結婚に関する意識調査において、結婚に前向きな方は平成27年度調査時から約10%減少した。○ 同調査において、異性との出会いを実現するために「出会いイベントへの開催支援」を求める方の割合が最も高い。									
事業の県関与の必要性									
□ 法令・条例上の義務 □ 内部管理事務 ■ 県でなければ実施できないもの									
□ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの									
家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を県民総参加により取り組むためには、県でなければ実施できない。									
政策評価委員会意見							重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定		
							○ 重点事業 ○ その他		